

＝ 12 月 ＝

No. 299



広報

あくね

昭和46年12月10日

編集 阿久根 市
発行 市長 公 室

昭和43年8月20日 第3種郵便物認可

毎月一回 10日発行 1部10円

師 走

☆…ことしもはや師走。冬枯れの荒涼たる自然をよそに、街はあわただし…☆
☆…い総決算と迎春の準備、年末クリスマスマスの大売出しが狂奏曲を奏てい…☆
☆…る。浄き夜”は、子どもたちの夢を運ぶサンタのおじさんが満たして…☆
☆…くれるとか…。この子らの未来を大きく、そして限りなく広い…☆



第4回定例市議会

大型冷蔵庫来年三月に完成

第三・四半期の施政報告

第四回定例市議会は、六日から二十二日まで開かれ市長は四十六年度第三・四半期分の施政についてつぎのとおり報告しました。



施政報告する市長

前四半期に引き続き災害復旧に全力をあげていますが、そのほか前進のための施策として、大型冷蔵庫の建設が定々着工の運びになりましたことをまずご報告申し上げます。

長崎県と阿久根間にフェリをー

みなさまでに新聞報道などでご承知かと存知ますが、おたくしが前から提案しておりました、長崎、鹿児島を結ぶフェリー就航について、この程、長崎県および野母崎町とパイプが通じまして、鹿児島県側もこの阿久根ということ、この航路が実現しますと、時間も現在の半分以内、経費も約半分以内で済むことになりました。

また、経済交流、観光ルートとして、年間鹿児島県側六百万人と長崎県側の四百万人との交流によって両県は飛躍的に発展するもの

と思えます。

この程、金丸知事に会い、県の協力をお願いしましたところ、積極的に協力するお約束されました。

今後、じゅうぶん調査し関係機関にも働きかけ、実現に向けて進める所存です。

近い将来このための関連諸施策につぎまして、具体的に提案する運びとなると思えます。

それでは、各部門ごとに具体的に報告申し上げます。

まず、市長公室、総務関係では九月定例議会でお約束いたしました「すぐやる係」の設置については十一月一日付けをもって発足させ、さっそく市民の苦情処理などに活動を開始しています。

農政関係では、国、県の補助、事業として、三等農協に貯蔵施設を建設しました。

なお、この施設の付帯施設としての育苗施設も建設中でございます。

また、農業振興地域の整備に關する法律に基づいて、本市の今後の農業振興についての計画を策定中であり、本年度中には県

に提出、認可を受ける予定でございます。

内田農道外十五地区が完成

土地改良関係は災害復旧がおもなものです。いままです完成した地区はつぎのとおりです。

内田地区農道復旧・南畑(大川)など十四地区がそれぞれ完成しています。

なお、現在工事中のものは、丸内第二地区、第七尻無地区など七地区のほか、一般林道金山(田代中)線の復旧中です。

商工水産関係では、大型冷蔵庫蔵庫を高之口(西目)に、すでに着工し来年三月完成の予定です。

また、さきの大雨災害の商工業者に対する災害復旧資金融資については、利用率百六十五件、二億二千六百万円にのぼっています。

建設は、災害復旧がおもであります。土木施設として、中蔵線(大川)、三

仏石橋(西目)のほか七カ所が完成しています。

また現在工事中のものが横ヶ倉(弓木野)線・徳口線(弓木野)など六カ所

れぞれ完成の予定です。教育施設の災害復旧は、本之牟礼分校ほか四校が完成しています。

消防関係は、田代分団に小型動力ポンプ付積載車を購入、遠隔地の早期出動のため配置しました。

設後にその他一般で、十月に開催された和歌山国体を視察して、来年に迫った団体開催について勉強してまいりました。

十一月十二日、金丸知事にとくに時間をさいてもらい、地方自治の問題点、県政の方向について語り、また、阿久根市政についてもいろいろアドバイスしていただき、今後とも協力援助をいただくようお願いしました。

新年度編成期を前にして、県出先機関と行政連絡会を阿久根市で開き、倉橋副知事も出席し、市としての要望をしました。

以上で、第三・四半期の施政のご報告を終わります。



すぐやる係側溝補修(大丸地区)

ご用納めは二十八日
来春は一月四日から

市役所のご用納めは二十八日
ご用納めは四日です。

その間市役所は休みますので
よろしくお願ひします。

なお、死亡届け、埋葬許可証
届出届けは日直がいて受け付け
ますのでおいでください。

時間は午前八時三十分から午
後五時までです。

みなさん、年内および来春一
月四日まで必要な書類がありま
したら早めに準備しておきまし
よう。

年末年始のちり収集は

年末年始のちり収集はつぎ
のとおりになっていきます。家の
回りのちりは早めに排出し、明
るい正月を迎えましょう。

●年末

- 高松川から南地区：十二月二
十七日(月)まで
- 高松川から北地区：十二月二
十八日(火)まで

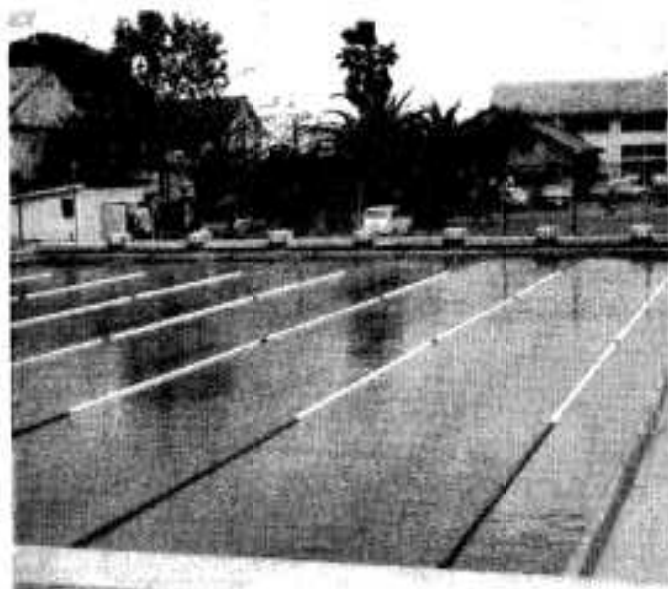
●年始

- 高松川から南地区：来春一月
五日(水)から
- 高松川から南地区：来春一月
六日(木)から、なお来春一
月七日から平常どおりです実
施します。

日曜医さん

●十二月十二日
北園診療所0016(本町)

大川小にプール 循環浄化装置つき



大川小に待望のプールが完成しました。

このプールは二十五厨七コースと、補助プール便所からなり、循環浄化装置つきの、最も近代的なプールです。

大川小は児童生徒は五百六十四人(校長木戸孝)は、このプールの完成に大よろこび、来年の夏休げることを心待ちにしています。

循環浄化装置つきのプールは、市内でははじめて、一シーズ中水はそのまま使ってよく、ただオーパー水を供給するだけでよく、経済的にできています。

また、水は消毒されて循環するため青のりのはえなく、寄生虫をはじめトナホームなど伝染病防止にも役立つ、安心して泳げること

ができます。

いままでは、海岸や川で水泳していましたが、これから農業などに

三笠農協に種いも管理施設

スイカ エンドウ など冷凍処理にも利用

三笠農協に種いも管理施設ができました。この施設は地域特産農業推進事業によってできたものです。

型は種強コンクリートブロックづくりで五十八・二平方メートル、付帯施設として、共同育苗施設(KP型ビニールハウス)で、二千六百四十平方メートル、総事業費七百七十七万四千円でできたものです。

この種いものキャリング(催芽

戦争公務扶助料をもらっているかたにも老齢年金が

福祉年金関係 法令の一部が改正され、つぎのかたがたは老齢福祉年金が受けられるようになりました。まだ申請してないかたが、早め手続きを済ましてください。

●戦争公務扶助料をもらっているかたは、老齢福祉年金が停止されるため、老齢福祉支給が停止されていたり、減額されているかたのうち、準士官以下のかたはその制限がなくなり、戦死者が何人あっても老齢福祉年金が支給されるようになりました。

●少尉以上のかたは、いままでどおりの制限があります。

●戦死者が二人以上あってどうせもらえないからと申請手続きをしていないかたがありましたら、早めに市民課年金係においでください。

心配する必要もなく、子どもの体力向上に大いに貢献するものと期待されています。

貯蔵、処理貯蔵は約三十分分で、ここで処理した種いもは、共同育苗施設で育苗され、甘しう栽培の合理化をはかろうとするものです。

種いもを処理しない期間はエンドウ、スイカ、その他やさいの冷凍処理ができることになっています。

施設の能力は

管理施設は七・五馬力の冷凍房

火災・救急は

局番なしの

一一九番に

山田病院②0420(本町)

●十二月十九日

堀切医院②0263(高松)

喜多医院②0038(大丸)

石原医院・脇本45(橋東)

●十二月二十六日

中村病院②0015(大丸)

内山病院②1551(高松)

脇本診療所・脇本26(下村)

●十二月三十一日

阿久根内科②0578(琴平)

田中医院②0533(大丸)

眞之上医院・脇本13(馬場)

●一月一日(昭和四十七年)

上園医院②1055(本町)

山田病院②0420(本町)

平医院・脇本40(古里)

●一月二日

北園医院②0016(真)

喜多医院②0038(大丸)

黒木医院・脇本200(馬場)

●一月三日

堀切医院②0263(高松)

内山病院②1551(高松)

石原医院・脇本45(橋東)

●一月九日

中村病院②0015(大丸)

田中医院②0553(大丸)

脇本診療所・脇本26(下村)

●一月十五日

阿久根内科②0578(琴平)

山田病院②0420(本町)

眞之上医院・脇本13(馬場)

新民生委員きまる

児童委員も兼任

十二月一日付けで新しい民生委員および児童委員五十六人が、厚生大臣、県知事から委嘱されました。

民生委員は、民間篤志奉仕者として、社会奉仕の精神により、明るく、住みよい社会をつくり、地域住民の福祉を増進させるための推進者です。

どんな小さな問題でも困った問題がありましたら、近くの民生委員のかたに気軽にご相談ください。なお、任期は四十六年十二月一日から四十九年十一月末日まで三年です。

つぎに委員のかたがたを紹介いたします。カッコ内は担当地区。

阿久根地区

- 宮田嘉次(波留)・津上博義(大丸)・大曲金喜(高松)・丹宗フジノ(本町)・浜崎栄(真)
- 宮岡岩蔵(上野)・山下五郎(新町)・東清信(寺山)・倉津重則(倉津)・大橋一雄(海)・黒崎幸人(段)・小田義逸(大尾)・牧内、東牧内、白木尾)・新坂上利助(中村、浦)

西目地区

- 佐藤只今(佐高、遠見岡)・飛松勇蔵(高ノ口)・尾上十蔵(飛松)・岩崎武夫(伊)・牛ノ

- 浜貞美(善)・岩崎仙蔵(馬見塚)
- 大川島
- 山下地区
- 川路利成(遠矢)・宮永太次郎(馬場)・滝水義衛(尾崎)・白肌実(弓木野)

- 折口・多田地区
- 廣越市設(折口東、大林、平田)・松尾直義(永田上、下)・大下本松夫(内川、大下)・上野義治(丸内、坤之尾)

- 鶴川内地区
- 児玉利和(上桑、下桑、木佐木野、長谷)・川畑重則(橋、羽田)・遠矢為一(巖野、宮原、横手)・尾原純雄(尾原、米次)・本義則

- (田代中、下)
- 大川北地区

- 岩崎知止(本之平礼)・松永享吉(牛之浜)・奥平慶蔵(仲仁田)・花田繁(中原敷)・奥平要(的場)・川畑剛(川畑中、川畑)・下園重志(尻無上)・大田庄吉(尻無中)・橋元一尊(尻無下)
- 脇本地区
- 池崎良一(馬場)・播磨誠二

年賀状は二十二日まで

郵便番号も忘れずに

郵便局では年末をむかえ、つぎのことをお願いしています。

〔年賀状〕

●年賀状は十二月二十二日までにはお出しください。この日まで出さないと元旦に配達できないこととなります。

〔小包〕

●小包は十二月十五日までにお出しください。この日を過ぎますと年賀郵便と重なりますので、年内に配達できないことがあります。

●小包には荷札をおつけください。荷札をつけないと迷い子小包になるおそれがあります。

郵便番号ははっきり

●年賀状にはあて名にも、あなたの住所にも必ず郵便番号をお書きください。この場合、都道府県名は省略できます。

●郵便番号が間違っていたり、書体がはっきりしないものは遅れたり返送されたりする場合があります。

成人になるかたに

四十七年一月十五日は成人の日です。

市では、これらのかたがたの新しい門出をお祝いし、意義ある日にしたいと、成人式を実施します。

●該当者

昭和二十六年四月二日から昭和二十七年四月一日まで生まれたかた。

阿久根市に住民票があるかた。しかし、阿久根市に住民票がなくても、親権者(保護者)が阿久根市に住んでおり、本人が式に参加する場合は該当します。

●受付期間

十二月二十日午前中まで

保育所入所受付

四十七年度保育所、児童館園児の入所申請を受け付けます。ご希望のかたは早めに、市福祉事務所にお申し込みください。

- 市立脇本保育所 百二十人
 - 大川保育所 六十人
 - 西目保育所 六十人
 - 折多保育所 六十人
 - 私立阿久根保育園 百五十人
 - 兼華保育園 百二十人
- なお、赤瀬川児童館、鶴川内児童館、大川児童館も入所を受け付けます。

〔申込期間〕

二月一日～二月末日まで。年少児や三歳未満児も事情によってはお預かりいたします。

十二月は歳末助け合い運動月間です。

この助け合い運動で集まった募金は、福祉施設やめぐまれないかたがために贈られます。

わたくしたちと同じように、暖かい正月を迎えることができ、毎行なわれるも、たたくため暖かい志をお待ちしています。

この歳末助け合い募金は、郵便局や銀行の窓口で寄託すれば共同募金会に直送されることになっています。

めぐまれないかたがために贈ら

暖かい手を

みなさん、めぐまれないかたがた、福祉施設にいるみなさんに、楽しい正月を迎えていただきます。

市民課

国民年金のしくみ

ます。

年金のしくみ

〔拠出年金〕

国民年金制度は、政府の行なり年金制度の一つで、年をとったりけがをしたり、一家の働き手が死亡したりしたときに老齢年金、障害年金、母子年金などを支給して本人やその家族の生活を保障しようとする制度です。

年をとったり、けがや死亡したりしたときに備えて、加入者全員が前もって保険料を積み立て、さらに国も保険料の半額を負担しています。

この国民年金のほかに、厚生年金保険、船員保険、各種共済組合など、九つの年金制度があります。昭和三十六年から国民皆年金制度が確立されてから、国民は必ずどれかの年金制度に加入することになっていきます。

ですから、厚生年金保険などの被用者年金制度の加入者、その制度から年金を受けることができる人、これらの人の配偶者、昼間部の大学生を除いた二十歳から六十歳までの人たちは、必ずこの国民年金に加入しなければなりません。また、年金や恩給などに入っている人の奥さんで希望される人も国民年金に加入できます。そこで、国民年金にはつぎのような種類がありその内容を紹介します。

各課めぐり

二万円、二級の人に九万六千円が支給されます。

●母子年金：生計中心の夫がなくなり、十八歳未満の子どもを養う妻に九万二千円、子どもが一人増すごとに四千八百円加算されます。

●遺児年金：父、母に死なれれば遺児（親なし児）となったとき、十八歳になるまで遺児が一人のとき九万一千二百円、一人ふえるごとに四千八百円加算された額が支給されます。

●寡婦年金：夫と死別したとき六十歳から支給され、六十五歳から老齢年金に切り替えられます。額は夫の受けられる年額が支給されます。

●死亡一時金：加入して三年以上保険料を納めた人がなくなったとき、遺族に最低一万円から最高五

万二千円が支給されます。

〔福祉年金〕

●老齢福祉年金：七十歳になったときから存命中、二万七千六百円が支給されます。

●障害老齢年金：障害の程度が二級の人に六十五歳から七十歳まで支給され、七十歳になれば老齢福祉年金に切り替えられ、額は二万七千六百円が支給されます。

●障害福祉年金：障害の程度が一級の人に二十歳以上の人に四万八

百円が支給されます。

●母子福祉年金：夫に死なれた妻で、中学卒業前の子どもがいると三万四千八百円、子どもが一人ふえるごとに四千八百円が加算され支給されます。

●準母子福祉年金：弟妹を養う姉や孫を養う祖母に、母子福祉年金と同じ額が支給されます。

以上年金の種類と内容をのべましたが、このほかに農業者年金や所得比例年金という特例もあります。

市内で販売されているたばこに対して市へ納税され、道路建設土地改良福祉施設など貴重な財源となっています。

そこで

●田畑や旅行のときは市内のたばこを。

●田かせぎや行くときたばこをお忘れなく。

●正月にお帰りのかたもおみやげとしてたばこを。

(出かせぎしているかたにも) 出かせぎしているかたにたばこを送られるときは、販売店に

連絡してくだされば、送料は販売店で一時立替え払いして、あとでたばこ消費税連絡協議会で負担してくれます。

※ ※

たばこは市内で

買いましょう

川柳を募集

申請書は各保育所、児童館および市役所福祉事務所にあります。

●題詠：「外交」または「政権」(なるたけ選挙・時事・政治関係のもの)

◎一人三句以内(「外交」で三句以内、「政権」で三句以内、計六句以内のことです)

●投句用紙はハガキまたはハガキ大の用紙で、題詠ごとに別用紙を用いること。

●応募先：各市町村の選挙管理委員会。

●締切：十二月三十一日、住所氏名(雅号は併記)明記のこと

●投句全員に記念、入選者に賞品を贈ります。

〔その他〕

●一口歳評「やばすずめ」：一人何点でも可、応募規定川柳と同じ

●「五行提言」：本文を七十九字にまとめてください。

●その他懸賞、マンガ、コント実話、体験記など歓迎します。

市金庫での現金取り扱いは二十七日まで

市役所内にある市金庫で取り扱う現金は、十二月二十七日、午後三時三十分までです。ご利用のかたは早めに済ませましよう。(収入役室)

― 5 ―

黒之瀬戸架橋

来春から架橋工事に

総延長五百二メートル

型は連続トラス式

阿久根市と長見を結ぶ「黒之瀬戸大橋」はいよいよ来春から、架橋工事にとりかかることになりました。

四十五年四月一日、日本道路公団の黒之瀬戸大橋工事事務所ができました。

すでに橋脚位置のボーリングも終わり、総工費十数億円をかけてつくられる「夢の大橋」も、四十八年に完成の予定です。

黒之瀬戸大橋は、黒之瀬戸の一番狭い掘折鼻と東町火之浦を結ぶところに、天草五橋と同型の連続トラス式（下路下曲弦鋼三径間連続トラス）の橋がかかることになっています。

総延長は五百二メートル（全幅八・六メートル）で、海面から約二十九メートルの高

さであり、両岸からそれぞれ百餘の海中に橋脚が二か所設置され、橋脚の距りは三百メートルとなります。

上部構造は、天草一号橋と違い潮流の激しいところ（潮流五ノット水深十七メートル）に設置されるために、他に類がなく、本州と四国を結ぶ架橋の「前しよう戦」ともいわれています。

橋脚の基礎には、栗石を入れてモルタルを注入する、プレバクトコシクリート方式が用いられます。一方、架橋に伴う取り付け道路の工事も、着々と進められており、橋の付帯道路として、黒之瀬側で約二千三百メートル、長島側で約千六百メートル、橋の完成までには新設舗装されることになっています。

☆ ☆



ここに橋がかかる、取り付け道路工事も急ピッチ



たばこにとりつかれて38年 双津 黄 綬 褒 章

昭和46年秋の叙勲に、双津広氏が「黄綬褒章」を授けられました。

これは、永年にわたりたばこ耕作に従事するかたわら、たばこ耕作組合役員として産地発展のため日夜努力され、たばこ耕作の振興に尽力された功績をたたえた叙勲です。

双津広氏は明治39年8月10日、三笠町（現在の阿久根郷本下村）のたばこ耕作農家に生まれ、少年時代からたばこ耕作の振興に志し、昭和9年27歳で実父のたばこ耕作を引き継ぎ、以来現在まで継続し、その間、昭和18年三笠町担当のたばこ耕作指導教師となり、戦後の困難な時代に耕作意欲の高揚につとめ、きよりの銘産産地の基礎を築いてこられました。

昭和26年推されて組合員となり、昭和37年出水地区たばこ耕作組合長と鹿児島県たばこ耕作組合連合会理事に就任し、現在にいたっています。

また、現在においては生産性の向上、後継者育成、構造改善事業（高尾野）の実施、市町村単位の共同育苗施設の設置など主産地形成づくりに日夜努力されています。本県のたばこの将来は、いままでも瀬戸内海地方が主産地としていたが、工業地、ベッドタウン地帯化し、今後は南九州、特に鹿児島、宮崎が重要視されつつあり有望な作物となってきました。

しかし、昔より耕作面積は減っていますが、一人当りの面積はふえています。しかし、耕作者が固定化しているとともに、生産者の高齢化がめだっています。

今後は魅力あるたばこ耕作の指導に努力するとともに、後継者育成も今後大きな課題だと思います。この授賞はわたくし一人のものでなく、まわりのかたがたの暖かいご支援、ご指導のたまものと深く感謝しています。

また、皇居で天皇陛下のお言葉を聞かれた感激は一生忘れられない。

この感激をあらたにし、いまの仕事に全力をそそぎ、たばこ耕作の振興につとめることが、少しでも思返えしになればと思っています。

—写真は双津広さん—

家計簿体験談作文を募集

貯蓄増強中央委員会では、家計簿記帳の普及運動の一つとして、「わが家計簿」体験談の作文募集を行なっています。

●募集事項は
(内容)：家計簿をつけはじめた動機や、記帳上の苦心談、家計簿をつけた喜びや、家族のかたがたの協力の模様。

●募集期間は
四十七年二月二十八日まで

●応募期間は
四十七年二月二十八日まで

●募集期間は
四十七年二月二十八日まで

●募集期間は
四十七年二月二十八日まで

●募集期間は
四十七年二月二十八日まで

●募集期間は
四十七年二月二十八日まで

小・中・高合同音楽会

市内小・中・高の合同音楽会が11月27日市民会館ホールで行なわれました。当日は市内から約1,500人が参加し声楽の部と器楽の部それぞれ日頃の腕を競い合いました。この音楽会はこととして20回を数え、とくに何久根中の器楽合唱は県下のコンクールで優勝しただけあって迫力がありました。

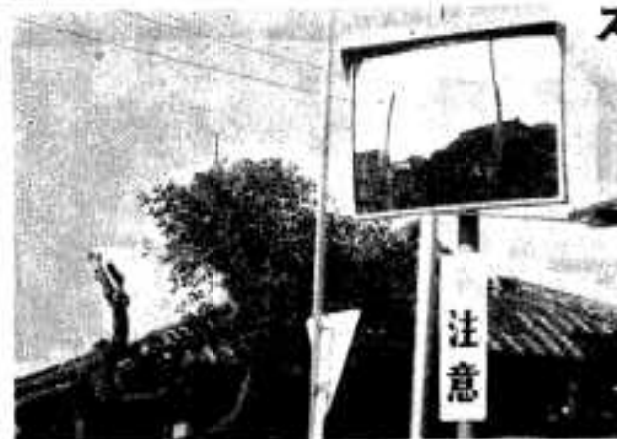


中津浜さん 自立更生者として表彰

出水地区身体障害者福祉大会(高尾野町)で市内赤瀬川の中津浜佳子さんが、自立更生者として表彰されました。中津浜さんは昭和24年満1歳のとき鉄道事故で左下腿と右前腕切断の重傷にも負けず、高校卒業と同時に身体障害者職業訓練校で経理を学び、さらに自動車免許をとるなど、20余年にわたる血のにじむような苦難にたえ、立派に更生ものです。



ピト
スク
スク



市交通安全市民会議では、市内の危険なところにロード・ミラーを15カ所に設置しました。交差点見とおしの悪い曲り角付近、三叉路などに設置。経済成長にともない車はいまや生活と切り難すことはできなくなりました。それにともない、交通事故もうなぎのぼりにふえています。ロード・ミラーは交通事故防止に大いに役立つものと期待されています。

危険カ所にロード・ミラー



黒之浜簡易水道拡張工事がこのほど完成し祝賀式が行なわれました。これは黒之上、黒山、大谷地区に拡張したもので、45年10月から47年3月まで2カ年の継続事業として行なわれていましたが、来年3月を持たずに完成し、早期完成に感謝されています。なお、この水道は106戸430人に給水されます。当日は地元婦人会が完成を祝いました。

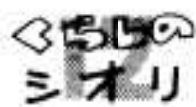
黒之浜簡易水道を拡張

寒さは日一日ときびしくなってきました。ことしもいよいよ最後の月、くらしの上での年度末です。

●衣：厚着はからだによくないといわれますが、伊達(だて)の薄着でがまんできません。寒いときには寒い服を着るととのえたいものです。厚着がよくない理由として、厚着をするとからだの熱の放散が不足して新陳代謝が妨げられ、環境に順応する力が弱くなる。したがってかぜをひきやすく病気にかかりやすくなる...というわけですね。衣類でからだを暖めるには、厚い着るほうが、その間の空気の層がでるので保温性が高くなるということです。

●食：ふつふつと煮えたぎるナベ料理は、冬の保温食の王様でしょう。か、ご家庭で季節の魚や肉と野菜など、好みの材料で好みの調味料でできる「寄せナベ」ぜひたくにも簡単に自由にとしえられるのが特徴です。

●住：冬を迎える用意に、家々では北窓をふさいだり、風除けを設けたり、庭の樹木にはワラツドで囲ったり、冬を暖かに過ごすためにはいろいろ工夫がいります。コタツというものは、わが国独特の暖房器具だそうなんです。このごろは一般家庭でも、もちはこびのできる置きこたつは重宝で、電気コタツの普及はめざましいものです。



出かせぎ保険

加入は済みましたか

年額わずか二百円

最近の農業をとりまく情勢は、米の生産調整などかつてない問題に直面しており、今後ともきびしいものと思われます。

本県の出かせぎ者は約二万六千人と推定され、昭和四十二年の一万三千人にくらべ約二倍の増加率で、東北地方とともに出かせぎの多い県となっています。

本市でも約一千三百人が出かせぎに就いており、近畿、中部、関東などへ建設現場、会社の製造工として働いています。

一方出かせぎは、特殊な就労であるため労働条件にあまりめぐまれない例が多く、縁故就労が半数

以上で雇用条件など不明確のまま働いているため、出かせぎ先での死亡、傷病などの事故や留守家族における子どものしつけ、不安感など出かせぎをめぐる問題は大きな社会問題となっています。

そこで、出かせぎ者が安心して出かせぎに行けるよう「財団法人鹿児島県出かせぎ援護協会」に加入をおすすめします。

この協会は十月一日発足、県や市内の市町村が協力して生まれ、出かせぎ者は年間二百円の保険料を支払うことになっています。

●見舞金

①死亡の場合

二十万円

②一カ月以上のけが

二万円から五万円

③不具者になったとき

十万円

●賃金不払いの一時立替え就労先

事業所で賃金不払いになったときは、賃金の一部を立替えます。

●現地相談員の配置

大阪、名古屋、東京などに現地相談員を配置し労働の実態を把握し、巡回相談、雇用条件などの改善や事故防止につとめます。

●留守家族の生活相談など

各市町村の婦人会や農業関係団体の協力を得て、留守家族の不安や悩みごとなどの生活相談を実施するほか、出かせぎ者の激励やレターを配布するなど留守家族との相互通信をすすめます。

●資格と加入手続き

現在任んでいる市町村を離れて世界に離れて、一カ月以上一年

未満働きに出る人(県内、県外問わず)は、だれでも会員になれます。手続きは市福祉事務所へ加入申込書に二百円(年額)を添えて申し込んでください。

出かせぎ保険金第一号

出かせぎ者の保険制度である、出かせぎ援護協会の受給第一号がすてに出ています。

これは西之表市馬毛島から愛知県にある鋳造工場の寮で、臨卒中で死亡したもので、この援護協会に加入したばかりだったが遺族に二十万円がすぐ支払われました。

このような事故がいつ自分にふりかかってくるかわかりません。まだ加入していないかたはいますぐ福祉事務所へ加入手続きをしてください。

離農者に給付金

離農を希望するかたの離農費を円滑にするため、所有農地を売って離農する場合に「離農給付金」が支給される制度が実施されています。

離農給付金は二種類からなり、農業者年金基金法による給付と、県単独の給付とに分かれています。

四十七年度中にこの離農給付金を希望されたかたは、市農業委員会にお申し出ください。

●農業者年金基金法による給付

三十以上の自分の土地を経営し、このうち二十以上の農地(自留地を十以下残してよい)を後継者以外に経営移譲(所有権移転)すること。

この離農するかたに支給される額は満五十五歳(四十六年一月一日現在)以上は三十五万円、その他は十五万円となっています。

●県単独事業

十ヘクタール未満の農地を所有しており、十ヘクタール以上(自留地を十以下残してよい)を農業委員会のあっせんにより、経営移譲(使用収益権は五年以上)した場合、離農者に対する支給額は五万円となっています。

そのほか詳細については手続きは、市農業委員会においでください。

*戸籍相談シリーズ、 婚姻届-7-

問 この前の広報紙で婚姻届け書は日曜や祝日、時間外でも受け付けてもらえるということですが、それは婚姻届に限られ、その他の届け書、たとえば死亡届けなどは受け付けてもらえないのでしょうか、お尋ねします。

答 この前は丁度結婚シーズンの時季であったため、とくに結婚を主として説明しましたが、戸籍に関する届け出は婚姻届に限らずすべて日曜や祝日、時間外でも受け付けることになっています。

ところで、平日に届け出た場合と日曜日などに届け出た場合とではつぎのような違いが生じますので、この点じゅうぶんご理解願います。

戸籍に関する届け出は人の身分に関する重要な要素を含んでいますので、民法や戸籍法でいろいろな要件が定められています。

市役所の窓口で戸籍に関する届け書が提出されると、担当者はその届け書を戸籍簿と対照し、あるいは内容について民法の条項その他の規定に照らして違っている点はないか、戸籍法上の要件は適当か、間違っていたら所は指摘して修正し、適法な届け書はその時点で法律上の効果が発生するのです。

ところが、日曜日に届けられた届け書は当直者が預り、勤務日に担当者が出勤してから引き継ぎして審査します。幸いその届け書が適法であれば当直者が預った日にさかのぼって法律効果が発生しますが、不適法な届け書であった場合は返戻されます。その結果、たとえば12月29日に結婚届け出されたのが翌年1月4日審査の結果不適法な届け書として返戻され、それを修正して1月7日に再提出したとしますと、その婚姻の効力発生日は1月7日となり事実と相違することになります。

どうしても日曜日などに届け出なければならないことがわかっている場合は、前もって戸籍担当者へ調査してもらっておくことが無難です。なお、届け出は本人が出てこなくても、使者でもよく、また郵便でもできます。

→ つみ取られたノリは海水で洗われミンチにかけられる



カメララボ

養殖ノリつみ

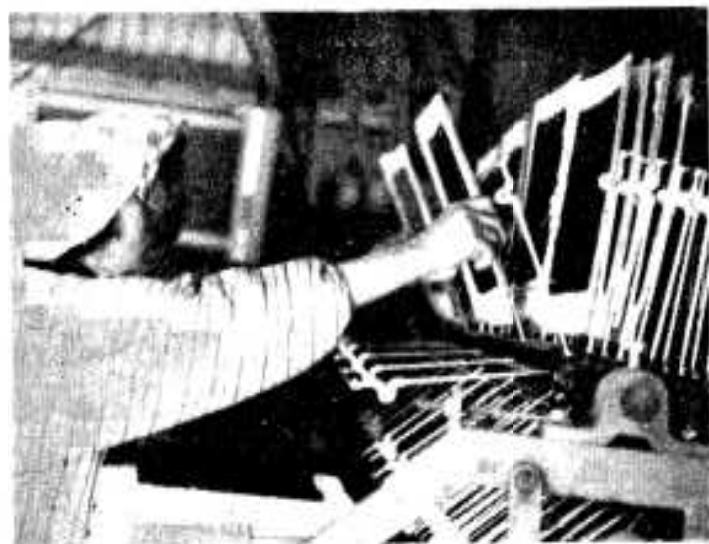
折口海岸で早くも養殖ノリつみが始まった。10月に杭打ちを行ない、11月1日ノリヒビ 200枚を張りこれが各網とも10センチ前後にのびました。寒い冬の海でのノリつみ機械の音も軽やかにひびいています。

このノリは正月用として出荷され、食卓をかざることになります。外海ワカメの養殖とともに、ノリ養殖も本格的になり、来年天然ワカメが解禁になる4月頃まで続きます。

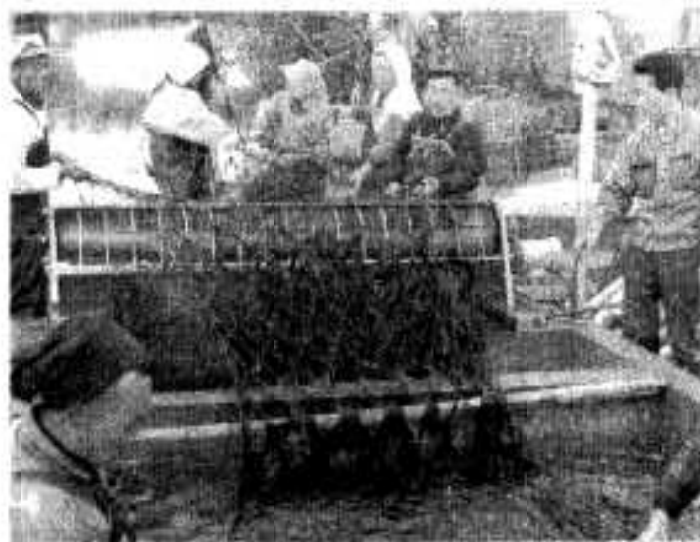


↑ こまかくきざまれたのりは、調合機にかけられ、同じ厚さに自動的にミスにノリが張られていく

→ 10月ノリの杭打ち、ノリヒビ約二〇〇枚が張られる



↑ ミスに張られたノリは脱水機にかけられ、そして乾燥機にかけ約2時30分で製品になる。この乾燥機には約3,200枚が一度に入る



↑ たて1.5m、横19mノリヒビに10畳前後にのびたノリがびっしり、ノリつみ機械にかけられる。しかし、例年より、のびが悪い



郷土の文化財

田の神



…田の神さん…それは現在でも市内あちこちの田のあぜに無心につつ立っているこけむした石の神像です。

この田の神をわたくしたちの祖先は、何んのためにいつごろつくり建てたのでしょうか。

それは、江戸時代中期のころ、田畑の農作を願って建てたものだという事です。

しかし、初期の田の神像は、すべてといっているほど地蔵型にきざまれています。

これは、薩摩藩の一向宗の布教を厳禁し禪宗や真言宗の布教をすすめたころのものだからという人もいます。

真言宗は、いうまでもなく弘法大師によっておこされた宗教であり、この弘法大師にまつわるいろいろな伝説は、いまでも各地に残っています。

そして、この古い時代の田の神像は、弘法大師でなかろうかということですが、

林や田のあぜに弘法大師をまつれば、必ず田畑を守ってもらえるとわたくしたちの先祖は考えたのではないのでしょうか。しかし、だんだんと時がたつにしたがって、田の神は、顔に笑が浮ぶ像となり、末期の田の神はわたくしたちに身近な人物を型どったものになって来ています。

写真の田の神は桑原城の東はずれの田のあぜ、大きな柿の木の下に建てられた市内でも最も新しいものですが、こんな話が伝えられています。

明治初年、井谷留池工事に奉仕していた村人たちの間から、ぜび田の神をつくらうじやないかという話が出てすぐまじりました。

石は留池近くの大石で、石工は名士といわれた山下村の慶助どんに頼むことに決まりました。

そしてそのモデルに桑原城で百姓片手に馬喰をしていた、朝から晩までいつもニコニコ顔の六助じいさんにするのがきまったのです。そして池の辺でつくられたこのニコニコ顔の田の神は、子どもをうみ盛り六人の若い人妻によってかつがれいまの場所にすえられたものといわれています。

(市立図書館長)



充実した冬休みに

注意したい子どもの健康管理

市内各小中学校は、十二月二十五日から、いっせいに冬休みに入ります。

この時期は年末年始のあわただしいときですから、とかく子どもを放任しがちです。

しかも、子どもの健康管理は、学校から家庭へバトンタッチされます。

とくに、寒さもきびしく「カゼ」などにかかりやすい時期です。子どもの健康管理にはじゅうぶん注意してあげましょう。

できるだけ薄着を

冬はとかく厚着をしやすく、そ

のうま汗をかいたり、着がえをいやがったりするので不潔になりがちです。

からだを清潔にし、できるだけ薄着にし、皮ふが活動しやすいようにすることが必要です。そのためには、着物は軽くて体温をよく保つものを選びましょう。

また、寒さがきびしくなるとあまり活動しなくても、カロリーはたくさん必要になります。とくに発育ざかりの子どもは脂肪やタンパク質などをじゅうぶんとる必要があります。

紫外線は発育に最適

さらに、わたくしたちの発育に必要なものとして、ビタミンDがあります。これは、太陽光線の紫外線がそのつとめを完全にたしにくれます。

この紫外線は太陽エネルギーの中わずかパーセントぐらいで、透明なガラスでも通りにくいものだからです。

天気の良い日にはできるだけ戸外に出て、直接日光にあてるようにしましょう。

計画的な勉強を

学校と違って家庭では勉強の態度が悪くなりがちです。冬休みの終りになってから、あわてて日記を書いたり、いっぺんに宿題などをするのがよくありません。

冬休み中計画的に勉強するよう心がけましょう。

そこで、子どもたちの心のゆるみがちな時期を計画的な生活設計をつくり、健康で有意義な冬休みにしてやりましょう。

十二月は…

興市民税 四期分の納期です
保険税

期限内に完納しすがすがしい正月を迎えましょう。

おくやみ (十月分)

田原	助徳54 (米次)	初男
高妻	寛美36 (直)	キタエ
古田	良美22 (新町)	ハセ
春田	清83 (牧内)	ノシ
松川	キタエ72 (上野)	タナカ
西村	貞義55 (波留)	ウタノ
馬見	新ツル64 (飛松)	重雄
知徳	伊三太65 (馬場)	ハツキタ
春田	スギ55 (大尾)	輝雄
松水	タメ90 (牛之浜)	セツ
出島	良武77 (遠矢)	イトシ
赤崎	サム61 (高之口)	照志
福崎	サン79 (波留)	七義
川崎	行則49 (上野)	コト
河南	漢輝0 (大尾)	忠誠
築地	ツル85 (段)	ハナエ
小原	スエ89 (馬見塚)	為義
渡辺	乙七69 (大丸)	ソノ
松崎	原次郎59 (瀬下)	スリエ
重久	スマ83 (下村)	清信
新町	ソノ63 (馬場)	靖
上	正直70 (馬場)	ツギヨ
石原	謙一18 (大瀬)	兼義
川添	伝56 (馬場)	盛大
黒水	タシ90 (黒之浜)	房雄